

平成 26 年度 筑前町社会福祉協議会事業報告

総括的概要

少子化・高齢社会の進展で社会構造も変容し、相互扶助や地域活動への参加意識の希薄化が進み福祉のあり方も変化してきています。

このような中で、町からの受託事業としてふれあいいきいきサロン事業や配食サービス事業、障がい者相談事業、放課後児童健全育成事業（学童保育所）などの福祉サービス事業を、行政、地域住民のみなさん、ボランティアの皆さんの支援協力を得て実施してきました。

一方、共同募金配分金事業では、ひとり暮らし高齢者のつどいや、敬老の日お祝い事業、重度障がい者の交流会、児童・生徒の福祉ふれあい体験などに取り組むとともに、福祉団体への活動支援、財政援助を行いました。

そして、合併 10 周年を記念した福祉大会を盛大に開催し、社協活動や昨年 10 月に開設したボランティアセンターを紹介し、社協の存在を示す大きな機会となりました。

事項別実績

1. 法人運営

1. 役員会の開催

○理事会（5 回）○評議員会（4 回）○監査（2 回）

2. 福祉部会

○全体会（1 回）○保健部会（1 回）○民生部会（1 回）○青少年部会（1 回）

3. 広報活動の推進

- 「ちくぜん社協だより」の発行（5 月・7 月・10 月・1 月）
- 「声の社協だより」（CD）
- 赤い羽根共同募金チラシ（10 月）
- 「共同募金だより」の発行（3 月）
- 町の広報紙の活用
- 町の防災無線の活用

4. 合併 10 周年記念福祉大会の開催

- 大会テーマ
「福祉のまちづくり～おかげさまの心で、支え合う“ちくぜん”をめざして～」
- 開催日 平成 27 年 2 月 8 日（日）
- 会場
コスモスプラザ ふれあいホール
- 内容
 - ・福祉功労者への表彰等
 - ・社会福祉協議会活動紹介

- ・ボランティアセンターの紹介とボランティア団体の紹介
- ・記念講演「家族にまさる宝なし」

- 参加者 340 人

5. その他職員研修等

- ①障がい者福祉研修
- ②地域福祉活動研修

2. 社会福祉事業

1. 受託事業

1. ふれあいいきいきサロン

ア、実施状況

- ・実施区 34 地区
- ・参加登録者数 1,082 人
- ・延べ実施回数 338 回
- ・延べ参加者数 6,675 人

イ、小学生との交流会

- ・実施地区 10 地区（夏休み期間中）

ウ、出前講座等について

- ・スポーツ 10 地区
- ・健康関係 10 地区
- ・福祉関係 8 地区
- ・教育関係 6 地区
- ・くらしなど 4 地区
- ・その他（独自講等） 10 地区
- ・朝倉警察署交通課 2 地区
- ・ちくちゃんバスの説明 12 地区

エ、野外活動について

4 月／3 地区、5 月／5 地区、6 月／1 地区、10 月／12 地区、2 月／1 地区、3 月／2 地区

オ、ふれあいいきいきサロン代表者会議（2 回）

カ、ふれあいいきいきサロン指導員研修会

- ・ガンバルーンボール研修（2 回実施）延 22 人参加
- ・筑紫野市福祉レクリエーション講習（3 回）延 19 人参加

キ、ふれあいいきいきサロン合同交流会

4 班に分けて篠隈区公民館、めくばり館で実施

- ・参加サロン数 31 サロン
- ・参加者総数 685 人

ク、ふれあいいきいきサロンの拡大

下原区、八並地区……………4月発会

中牟田町区……………1月発会

2. 在宅高齢者等配食サービス事業

○配食サービス実績

- ・配食日数 (361日)
- ・配食総数 19,737食
- ・月平均利用者 57人

3. 敬老館運営管理事業

写真：敬老館クリスマス会の出し物

ア、入館者数

- ・入館者総数 13,013人
- ・一日当たり平均 43.5人

イ、イベントの実施

- ・実施回数 (11回)

4. 敬老館食堂事業

- ・年間売上額 6,058,680円 (前年比 339,990円増)

5. 放課後児童健全育成事業 (学童保育所運営)

ア、入所児童数

- ・みわっ子 SUN2 クラブ

年度初め 55人 年度末 49人 (三輪小学校区)

- ・のびのびクラブ

年度初め 60人 年度末 59人 (東小田小学校区)

- ・すくすくクラブ

年度初め 37人 年度末 41人 (中牟田・三並小学校区)

- ・計

年度初め 152人 年度末 149人

イ、夏休期間中のみの受け入れ

のびのびクラブ 3人

すくすくクラブ 5人

ウ、学童連絡会の設置

スクールソーシャルワーカー、家庭相談員、こども課、各学童の主任指導員、社協を構成メンバーとして学童連絡会を開催

- ・みわっ子 SUN2 クラブ (4回)
- ・のびのびクラブ (4回)
- ・すくすくクラブ (4回)

エ、指導員の育成

- ・各学童での指導員ミーティング 毎月
- ・主任ミーティング 年3回

- ・全体ミーティング 年1回
- ・学童保育新人基礎研修 2人参加
- ・こども支援部会研修 3人参加
- ・全国学童保育指導員学校 4人参加
- ・ミニ講座「これからの学童保育所について」 11人参加

6. 障害者相談支援事業

ア、相談件数

- ・精神 208件
- ・知的 123件
- ・身体 420件
- ・その他 11件
- ・計 762件

イ、障害支援区分認定調査

- ・支援区分認定調査 66件
- ・聞き取り調査（居宅）63件
（児童）28件
- ・総計 157件

7. コミュニケーション支援

（筑前町手話・要約筆記奉仕員派遣事業）

- 利用登録者 12人
- 通訳登録者 10人
- 利用実績 55件

8. 在宅介護者のつどい（そったく基金活用）

- 1回目：熊本県山鹿市（八千代座見学）
7月15日（火）参加者9人（台風のため期日変更）
7月16日（水）参加者20人
- 2回目：糸島市（白糸の滝、福ふくの里）
10月28日（火）参加者16人
11月5日（水）参加者19人

9. 心配ごと相談事業

ア、相談員 18人

イ、相談日 毎月第1、第3金曜日

ウ、相談件数 65件

エ、相談内容 財産問題、家族関係、離婚関係、近隣トラブル等

10. 福岡県社会福祉協議会生活福祉資金貸付事業

- 平成26年度貸し付け相談件数 13件

- 貸付決定
 - ・教育支援資金 2件
 - ・福祉資金貸付 1件

11. 日常生活自立支援事業（地域福祉権利擁護事業）

認知症、知的障がい、精神障がいなどで判断能力が不十分なため、日常の金銭管理の支援

- ・利用者 高齢者 2人 知的障がい者 1人 精神障がい者 3人

12. 筑前町ボランティアセンター運営事業

ア、ボランティア登録

- ・団体 16団体 191人
- ・個人 28人

イ、ボランティア依頼及び調整

- ・ボランティア依頼件数 21件
- ・マッチング件数 18件
- ・主な依頼内容

町内福祉施設の行事、イベント

視覚障がい者のガイドボランティア

ウ、情報の発信

- ・ボランティアセンターだより（11月発行）
- ・広報ちくぜん（8月、11月、12月）
- ・ホームページ（3月4日から公開）

エ、講座開催

- ・ガイドボランティア講座 10人
- ・手話体験講座（10回） 12人

オ、人材研修（ボランティアコーディネーター研修）

- ・ボランティアコーディネーション力3級検定研修及び試験
- ・ボランティアコーディネーター研修
- ・災害ボランティアセンター設置運営訓練

カ、その他

- ・ボランティアセンターパンフレットの作成
- ・ボランティア活動のしおりの作成

2. 共同募金配分金事業

A. 高齢者福祉事業

1. ひとり暮らし高齢者のつどい

- 目的地
糸島市(伊都菜彩、雷山)
- 10月29日（水）32人参加
- 10月30日（木）29人参加

2. 敬老の日祝い事業

- 白寿 11人
(10,000円商品券)
- 米寿 132人
(5,000円商品券)

B. 障がい者福祉事業

1. 筑前町障がい者福祉大会

- 開催日 10月24日(金)
コスモスプラザ会議室
- 内容 障がい者支援施設概要説明／福祉サービス利用者体験発表／事業所職員発表

2. 重度障がい者遠足会

- 開催日 9月24日(水)
- 目的地 ヤフオクドーム見学
- 参加者 31人



C. 児童・青少年福祉事業

1. 小・中学生福祉施設ふれあい体験学習

ア、小学生の参加者数

- 期間 7月22日～8月21日のうち7日間
- 参加者 30人

イ、中学生の参加者数

- 期間 7月23日～8月26日のうち5日間
- 参加者 23人

ウ、体験福祉施設等

朝老園、菊池園、菊水苑、ほっとスペースあさくら、朝倉苑、城山荘、第二野の花学園、サンビレッヂ朝日ヶ丘

2. 社会福祉協力校への支援

ア、三輪中学校防災訓練での講義

- 期日 6月7日(土)
- 対象 1年生
- テーマ「災害の怖さ～要支援者の気持ちになって～」
イ、三輪中学校1年生「福祉ふれあい体験学習」事前学習での講義

- 期日 9月11日(木)
- 対象 1年生
- 内容 「社会福祉協議会の事業」と「施設に行くにあたって知ってもらいたいこと」
ウ、夜須中学校、三並小学校の生徒から視覚障がい者へのインタビュー
- 夜須中学校 10月8日(水)
- 三並小学校 10月27日(月)
エ、ちくぜん町探検隊への福祉体験講義
- 期日 12月20日(土)
- 対象 ちくぜん町探検隊(夜須地区小学生)
- テーマ 講義「福祉って?」、体験「気づき」

3. 親子で防災体験にいこう!

- 開催日 8月24日(日)
- 対象 小学生親子
- 参加者 親子8組19人
- 内容 NHK福岡放送局、福岡市民防災センターでの研修

D. 住民全般福祉事業

1. ボランティア連絡協議会主催事業の支援

ア、ボランティア連絡協議会との連携
イ、第1回ボランティア講座「防災体験」

- 参加者 13人
ウ、ボランティアセンター視察研修
- 開催日 9月10日(水)
- 視察地 広川町ボランティアセンター／大刀洗町ボランティアセンター
- 参加者 11人
エ、第2回ボランティア講座「介護保険と国民健康保険講座」
- 開催日 10月18日(土)
- 内容 介護保険と国民健康保険(後期高齢者医療制度)
- 参加者 40人

E. 福祉団体への配分及び支援

1. 福祉団体への配分

老人クラブ連合会、身体障害者福祉協会、母子寡婦福祉会、遺族会、ボランティア連絡協議会、小中学校福祉校へ配分

2. 金婚祝い品配布事業

今年結婚50年周年を迎えられた32組に、記念品の贈呈

3. 白百合会のつどい

- 開催日 3月17日(火)
- 会場 男女共同参画センター「リブラ」
- 内容 朗読・出前講座・交流会

- 参加者 29 人



F. 共同作業所への配分

共同作業所みるくはうす、ひだまり、くるみ苑への配分

3. その他の事業

1. 地域福祉活動計画の策定準備

職員プロジェクトを設置し、県内社協の策定状況、両筑管内の策定方法、策定期間、経費、職員体制等を調査研究しました。

結果として、住民意識調査・分析、印刷製本等に要する財源及び職員体制等から独自策定は困難であると判断し、町の地域福祉計画見直し時に策定する方向にしました。

2. 地域懇談会の実施

地域福祉活動計画策定のため地域の意見を集約することで計画したが、手つかずのままです。27年度にふれあいいきいきサロン実施地区の中からモデル地区を選定し、サロン前後の時間を利用し懇談の場を設けていきます。

3. 見守りマップの作成

まずは配食サービス利用者のマップを予定していましたが、手つかずのままです。27年度に1地区作成するようにします。

3. 共同募金事業

1. 赤い羽根共同募金運動

平成26年度も町民の皆さまから多額の募金を寄せていただきました。この募金による配分金は、翌年度の共同募金配分金事業の貴重な財源となります。

○募金額 7,856,486円